

別表（５）

令和 7 年度 志津保育園 防災教育及び訓練計画表

	災害想定 （発生場所）	避難場所 時間	ね ら い	訓 練 内 容	その他の訓練及び注意事項	消火訓練
4 月	災害の啓蒙	各クラス （9:45）	・非常時の合図を知る。 ・災害時の避難方法、訓練の必要性を知る。	・非常時はベルや笛が鳴り、放送が流れることを知る。 ・非常時は遊びをやめ、保育士のそばに集まることを約束する。 ・避難するときの「おかしも」の約束を知る。	・消防計画や役割分担の確認をする。 ・点呼、人数確認を速やかにする。	・園内消火器の位置確認（全職員）
5 月	地震 （中度）	園 庭 （9:45）	・地震時の基本的避難方法を知る。	・放送で地震を知り、園児を机の下や、保育士の周りに集め、頭部を保護し身の安全を図る。慌てて外に飛び出さない。 ・大揺れが治まってから上靴のまま園庭に避難する。	・火の始末、ガスの元栓を閉める。 ・保育士は、窓、戸を開放して出口を確保する。 ・カーテンを閉め、ガラスの飛散防止を行う。	・消火器の使用方法確認（正規職員、クラス担任）
		第2避難所 （やまぶき公園） （9：45）	・第2 避難所への経路を知る。	・人数確認後、第2 避難所に避難する。	・第2 避難場所へ避難する準備をする。 ・交通事故等2次災害に注意する。	
6 月	火 災 （給食室） *総合訓練	園 庭 （9:45）	・火災時の基本的避難方法を知る。（通報・避難・消火訓練）	・出火場所により、避難場所が違うことを知る。 ・「おかしも」の約束を守る。 ・煙の怖さを知り、腰を低くしてハンカチ等で口を覆う。	・3 歳以上児は5 歳児側、外階段と避難滑り台を使う。 ・重要書類の搬出訓練。・玄関の排煙窓をあける。 ・窓や出入口を閉める。・カーテンを開ける	・初期消火の重要性を知る（正規職員、クラス担任）
7 月	地震 （中度）	園 庭 （17：45）	・担任以外の保育士等に従って行動できるようにする。	・部屋にいる保育士等の指示を聞き行動する。 ・放送で地震を知り、園児を机の下や、保育士の周りに集め、頭部を保護し身の安全を図る。慌てて外に飛び出さない。 ・大揺れが治まってから上靴のまま外階段を使って園庭に避難する。	・保育士は、窓、戸を開放して出口を確保する。 ・園舎内の安全な避難場所を再確認する。 ・地震時の避難経路、職員配置の確認をする。 ・カーテンを閉め、ガラスの飛散防止をする。 ・遅番が緊急連絡票を取りに行く。	・消火器の使用方法確認（保育士ⅠⅡ）
8 月	火 災 （近隣住宅）	玄関ホール （9:45）	・近隣火災時における、訓練の必要性を知る。	・放送を聞いて保育士のそばに集まり、保育士の指示に従う。 ・避難するときの「おかしも」の約束を守る。 ・真剣な態度の積み重ねが非常時、命を救うことを知らせる。	・園児の動揺を静めて保育士の指示を聞くように知らせる。 ・室内に残留児がいないことを確認する。 ・火災の時は、窓等出入口を閉める。	・初期消火の重要性を知る（保育士ⅠⅡ）
9 月	風水害	遊戯室 （16:15）	・ニュースや情報を聞くことの大切さを知る。 ・互いに助け合う心を養う。	・台風や集中豪雨、雷等の話を聞き、停電、断水があることを知らせる。 ・身支度をして、保護者が来るまで助け合い、安心して待てるように話す。 ・防災の日にちなみ、非常時の食料アルファ化米を食べてみる。	・非常時の必要物品、食料の点検、置き場所の再確認をする。 ・保護者への引渡し方法や宿泊時の検討。	・消火器の使用方法確認（調理員・用務員・事務員・支援員）
10月	火 災 （隣接住宅）	園庭 （14:45）	・午睡中でも目をさまし、保育者の誘導により避難する。	・放送を聞いて保育士等のそばに集まり、保育士等の指示に従う。 ・避難するときの「おかしも」の約束を守る。	・園児の動揺を静めて屋外に誘導する。 ・落ち着いて安全に階段を下りる。・窓等出入口を閉める。 ・布団を半分に折り、逃げ遅れや室内に残留児がいないことを確認する。・点呼、人数確認を速やかにする。	・初期消火の重要性を知る（調理員・用務員・事務員・支援員）
	不 審 者	園舎内 （9：45）	・戸外遊び中の避難。 ・不審者に対する避難方法を知る。	・戸外遊び中に不審者を発見、速やかに職員間で情報を伝え合う。また、笛で園内に知らせる。 ・園庭から室内へ避難し、避難体制をとる。 ・不審者に対する注意を伝える。「いかのおすし」の約束を再確認する。	・保育士は笛を常に準備する。 ・カーテンを閉め、鍵をかけ、バリケード等作り、身を守る。 ・子どもにつく職員と通報する職員、さすまた等を不審者対応する職員、援後する職員等、役割分担する。	—
1 1月	火 災 （給食室） *総合訓練	園 庭 （9:45）	・消防署の指導を受ける。（通報・避難・消火訓練）	・普段の避難行動をとり、指導、評価を受ける。 ・防災ビデオを視聴し、防災教育を行う。 ・煙の怖さを知り、腰を低くしてハンカチ等で口を覆う。	・消防署への通報。落ち着いて的確に伝える。 ・消火器を使った消火訓練。効果的な消火器の使い方の再確認。 ・玄関の排煙窓をあける	・初期消火の重要性を知る（正規職員、クラス担任）
1 2月	漏電火災 （2F 倉庫天井）	園 庭 （17：45）	・保育者の誘導により避難する ・電気器具からも火災が起こることを知る。	・放送を聞いて保育士等のそばに集まり、保育士等の指示に従う。 ・漏電火災や感電事故について話し、危険な遊びやいたずらをしないよう注意をする。 ・3歳以上児（4.5 歳）はベランダを通り、らせんすべり台より避難する。	・電気器具類の安全確認をする。・窓を閉める。 ・カーテンをあける。・玄関の排煙窓をあける ・未満児職員が大門を開けられるようにする。（随時行う）	・火災場所へ消火器を集め消火器の使用 方法を確認する（2 F・3 歳以上児職員）
1 月	地震 （中度）	園 庭 （未定）	・地震時のすばやい行動を身に付ける。	・園児を机の下や、保育士の周りに集め、頭部を保護し身の安全を図る。慌てて外に飛び出さない。 ・落ち着いて保育士の指示に従い、すばやく園庭に避難する。	・保育士は、窓、戸を開放して出口を確保する。 ・園舎内の安全な避難場所を再確認する。 ・地震時の避難経路、職員配置の確認をする。 ・カーテンを閉め、ガラスの飛散防止をする。	・火災場所へ消火器を集め消火器の使用 方法を確認する（1 F・3 歳未満児職員）
2 月	火 災 （ひよこ組）	第3避難場所 西志津中学校 （9：45）	・避難時の行動を再確認する。 ・事務室以外からの連絡方法を確認する。	・速やかに周囲の職員に伝え、初期消火を行う。 ・放送を聞いて保育士等のそばに集まり、保育士等の指示に従う。 ・室内で遊ぶクラスは、らせん滑り台を使って避難をする。	・通報する職員、初期消火に当たる職員、子どもに対応する職員等に役割分担する。 ・保育士、保育支援員等で連携体制をとる。 ・排煙窓をあける・カーテンを開ける。	・火災場所へ消火器を集め消火器の使用 方法を確認する（調理室・調理員）
3 月	地震 （中度）	園 庭 （14:45）	・午睡中でも目をさまし、保育者の誘導により避難する。	・布団などで落下物から身を守る。 ・放送を聞き、落ち着いて保育士の指示に従い、すばやく園庭に避難する。 ・建物の落下から身を守る。	・園舎内の安全な避難場所を再確認する。 ・布団を半分に折り、逃げ遅れや室内に残留児がいないことを確認する。・地震時の避難経路、職員配置の確認をする。 ・非常時の必要物品、食料の点検、置き場所の再確認をする。 ・カーテンを閉め、ガラスの飛散防止をする。	・火災場所へ消火器を集め消火器の使用 方法を確認する（給湯室・事務室職員）